

### 第3回呉西圏域ビジョン懇談会 会議録

日 時：平成29年2月27日（月）10時～11時

場 所：高岡市福岡庁舎3階大会議室

出席者：呉西圏域ビジョン懇談会委員20名

次 第：1 開会

2 とやま呉西圏域連携推進協議会 会長あいさつ

3 とやま呉西圏域 平成29年度連携事業の展開について

4 議事

(1)とやま呉西圏域都市圏ビジョン（第1回改訂版）（案）について

(2)意見交換

5 閉会

#### 〔議事概要〕

##### ○意見交換

（委員）

- ・連携施策「高度な医療サービスの提供」のKPIについて、目標値が現状値よりも下回っているが、その意図は。いかにも低下しているように見えるため、説明が必要ではないか。

（事務局）

- ・今後進行する人口減少下においても、地域がん診療連携拠点病院としての機能を維持するため、指定要件となる診療実績（20%以上）を将来にわたり確保するということを目的に、目標値として設定した。
- ・目標値の表現方法については検討させていただきたい。

（委員）

- ・連携事業に農林水産物のブランド育成事業があるので、KPIには「農業産出額」のほか、水産業に関する指標の検討も必要ではないか。

（事務局）

- ・KPIを設定する際には、経済センサスや農林業センサスなど、国の統計データについても検討したが、今後PDCAサイクルを実践するにあたり、できる限り毎年検証できるようなデータから抽出した。
- ・これらは施策のKPIとして代表的な位置付けにしているが、連携事業は、各事業に位置付ける個別指標を参考に評価していきたいと考えている。

（座長）

- ・全てのKPIが全てを網羅しているわけではないが、全ての取り組みがいずれかの基本目標につながっていることから、今後はそれらを考慮した事業の企画・立案

が必要と考える。

(委員)

- ・ 3つの基本目標における数値は、一見控えめだが、実際は何も手を講じなければ数値が落ちていくことを鑑みると、見せ方次第では非常にチャレンジングな数値ともいえる。

(座長)

- ・ 数値目標の意義や重みを、圏域住民や企業と意識を共有することが大切。とやま呉西圏域ホームページなどを活用してうまく情報を伝えることが重要。

(委員)

- ・ 地域医療・介護・福祉の分野について、現在、国では健康寿命の延伸や増大する医療費の適正化、ICTの活用など、「健康づくり」を成長産業するべく積極的に取り組みを進めている。ぜひ圏域においても重点的に推進していただきたい。

(委員)

- ・ 地域の「稼ぐ力」について、RESASで分析すると因果関係は不明であり、結果的な法則だが、域内の取引が活発化すると付加価値が上がる。相反するが、域外との取引が活発化しても付加価値は上がる。また、設備投資の集中も付加価値が上がる。これらを踏まえて個別施策に反映いただければと思う。
- ・ 付加価値を上げ、企業でいう売上を増加させる一方、コスト削減策として、公共施設の有効活用についても検討する必要がある。
- ・ 圏域を対外的にPRし、滞在人口の増加を図るため、燕三条市の「工場の祭典」のような地域をあげた産業観光・工場見学を実施してはどうか。

(委員)

- ・ 圏域の産業関連図のようなものがあれば、起業・創業、新分野進出などの誘導も図ることができると思う。調査する価値はあるのでは。

(委員)

- ・ 主要観光地におけるインバウンド対策についても検証が必要では。

(座長)

- ・ トータルの指標の裏には連携事業における指標の積み上げがあることから、何を伸ばしていくのか、何に注目していくのか、各KPIを更にブレイクダウンして、具体的な連携施策に取り組む必要がある。